

IVH-1000Z/IVH-2000Z から SDM-3600 にデータが 転送できない場合のトラブルシューティング

SDM-3600 アプリを起動し、IVH-1000Z/IVH-2000Z からデータを取得中に「機器が接続されていないか電源が入っていません。またドライバがセットアップされていません」といったエラーが表示される場合、IVH-1000Z/IVH-2000Z のドライバの状態異常の可能性あります。

お客様の環境下で必要な処置を判断するために、下記手順に従って、診断（デバイスマネージャーの起動とフローチャートの確認）を行ってください。

1. 診断（デバイスマネージャーの起動・確認）

- 1) PC と IVH-1000Z/IVH-2000Z を USB ケーブルで接続します。
- 2) PC 画面左下の Windows ログををクリック、またはキーボードの Windows キーを押してください。
- 3) 検索窓が表示されるので、“デバイスマネージャー” と入力し、[開く]をクリックしてください。



Windows11 の例

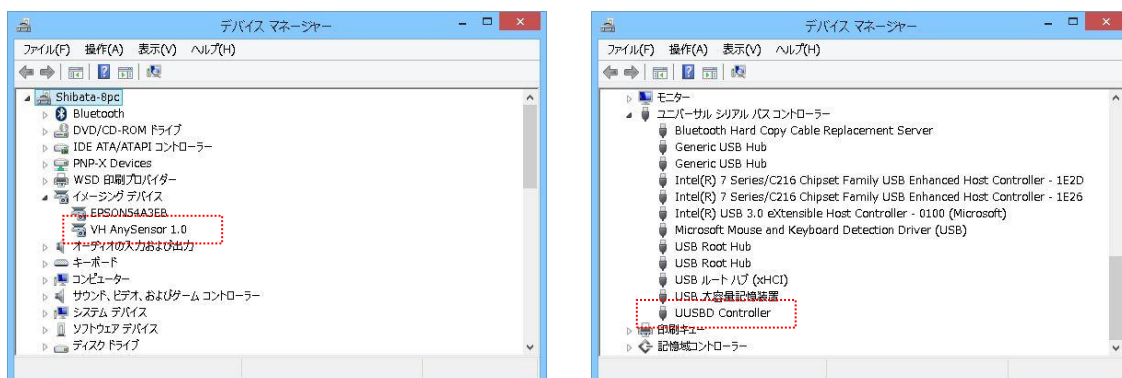
- 4) デバイスマネージャーの表示を見て、診断結果に則った対処を行ってください。
デバイスマネージャーの表示が分かりづらい場合、一度、PC と IVH-1000Z/IVH-2000Z の接続を外し、再度接続してください。デバイスマネージャーの表示が変わった部分が該当します。

	デバイスマネージャー画面	当該項目(左列)を右クリックして表示されるメニュー>[プロパティ]を選択した際の表示	診断結果
①	<p>[イメージングデバイス]の配下に[VH AnySensor1.0]として表示される。</p>		適切なドライバが適用されていません。 『2. ドライバの再インストール』に進んでください。
②	<p>[ユニバーサル シリアル バスコントローラー]の配下に[UUSB Controller]として表示される。</p>		
③	<p>[ほかのデバイス]の配下に[Shin-ei Device]として[!]付きで表示される。</p>	<p>デバイスの状態</p> <p>このデバイスのドライバーがインストールされていません。(コード 28)</p> <p>このデバイスと互換性のあるドライバーがありません。</p> <p>『(コード 28)』と表示される。</p>	Windows 機能の「コア分離・メモリ整合性」がオンになっています。『3. コード 39 エラーの解消方法』に進んでください。
④	<p>[ユニバーサルシリアルバスコントローラー]の配下に[Shin-ei Device]として[!]付きで表示される。</p>	<p>デバイスの状態</p> <p>このハードウェアのデバイス ドライバーを読み込むことができません。ドライバーがない可能性があります。(コード 39)</p> <p>『コード 39』と表示される。</p>	

⑤	 <p>ユニバーサル シリアル バス コントローラ Shin-ei Device</p> <p>[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の配下に[Shin-ei Device]として表示される。</p>		<p>ドライバは正常動作しています。 再度、アプリで動作確認してください。</p>
⑥	<p>上記以外の場合</p>		<p>弊社サポートまで、お問合せください。</p>

2. ドライバの再インストール

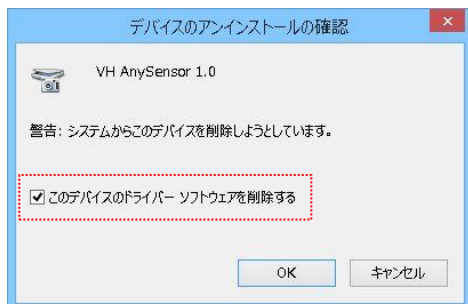
- 1) 既存の古いドライバーをアンインストールします。以下の項目をダブルクリックしてください。
 - [イメージングデバイス]-[VH AnySensor 1.0]、または
 - [ユニバーサル シリアル バスコントローラ]-[UUSBD Controller]、または
 - [ほかのデバイス]-[Shin-ei Device]



- 2) 「ドライバー」タブを選択し、「デバイスのアンインストール」をクリックします。
※以降、画像は「VH AnySensor 1.0」を例として表示します。「UUSBD Controller」、[Shin-ei Device]の場合も手順は同様です。



- 3) 新しいウィンドウが表示されるので、
 Windows10 の場合、「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除する」
 Windows11 の場合、「このデバイスのドライバーを削除しようとした」
 のチェックボックスにチェックを入れて「アンインストール」をクリックします。



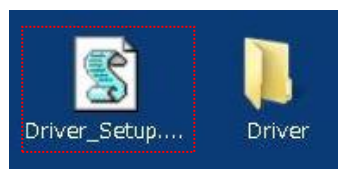
Windows10 の例



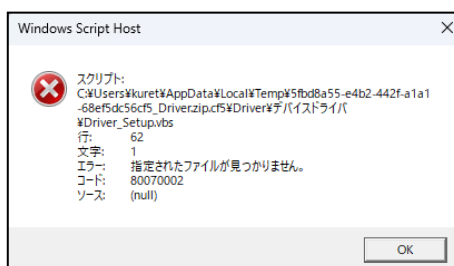
Windows11 の例

チェックを入れずに「アンインストール」をクリックすると、正常にアンインストールされません。IVH-1000Z/IVH-2000Z の接続を外し、再度接続した際に、古いドライバがインストールされてしまいます。そうなった場合、再度、本手順をやり直してください。

- 4) IVH-1000Z/IVH-2000Z が接続された USB ケーブルを PC から抜きます。
 5) 解凍済み「Driver」フォルダ内の「Driver_Setup.vbs」を実行し、デバイスドライバーをインストールします。



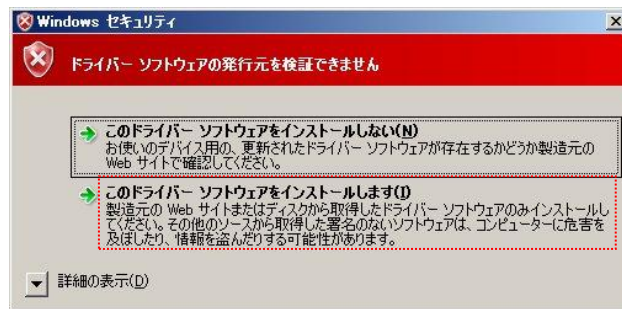
「Driver.zip」を解凍せずに、「Driver_Setup.vbs」を実行すると、以下の画像のエラーとなります。「OK」を押し、「Driver.zip」を解凍後、同様の手順を繰り返してください。



- 6) ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。
 7) デバイスドライバーのインストールが始まりますので、[次へ]をクリックします。



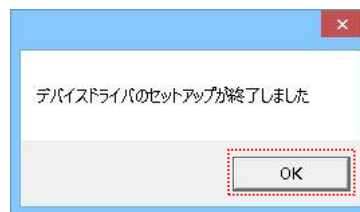
- 8) Windows のセキュリティが表示された場合は下側の
[このドライバーソフトウェアをインストールします(I)]を選択します。



- 9) デバイスドライバーが正常にインストールされたことを確認し、[完了]をクリックします。



- 10) デバイスドライバーのセットアップが正常終了したメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



以上で、デバイスドライバーのインストール作業は終了となります。
再度、SDM-3600 アプリを立ち上げ、現象が改善されているかをご確認ください。
問題がある場合には、再度『1. 診断 (デバイスマネージャーの起動・確認)』から実行ください。

3. コード 39 エラーの解消方法

Windows 10 および Windows 11 では、セキュリティ向上のために「コア分離・メモリ整合性」という新機能が追加されました。

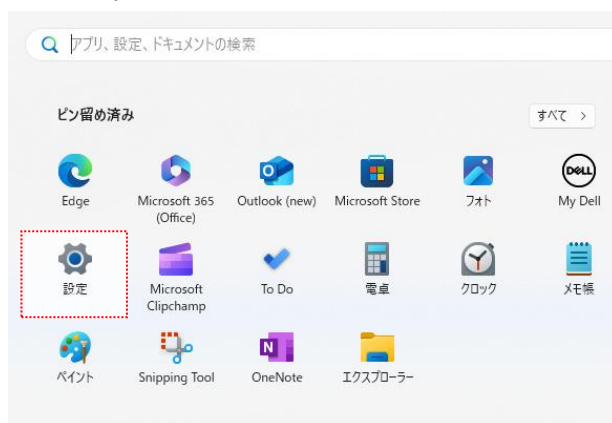
この機能がオンの場合、IVH-1000Z/IVH-2000Z のドライバーはエラー（コード 39）となり、正しく機能しません。この機能をオフにすることで、正常に動作することができます。

このため、もし、IVH-1000Z/IVH-2000Z を使い続けたいお客様は後述の手順を用いて「コア分離・メモリ整合性」機能をオフに設定してください。

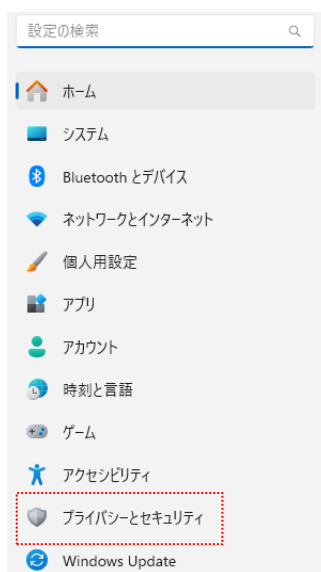
ただし、当該機能をオフにすると一般に Windows のセキュリティレベルは低下してしまいます。もし、セキュリティ上の懸念をお持ちのお客様は、この機会に後継製品『IVH-2020Z』のご購入をご検討いただけると幸いです（IVH-2020Z では「コア分離・メモリ整合性」機能がオンでも正常動作します）

「コア分離・メモリ整合性」をオフに設定する手順を以下に示します。

- 1) PC 画面左下の Windows ロゴをクリック、またはキーボードの windows キーを押してください。
- 2) [設定]をクリックしてください。



- 3) 左側のメニューの[プライバシーとセキュリティ]をクリックしてください。



4) [Windows セキュリティ]をクリックしてください。



5) [Windows セキュリティを開く]をクリックしてください。



6) 左側のメニューの[デバイスセキュリティ]をクリックしてください。



7) [コア分離の詳細]をクリックしてください。



8) [メモリ整合性]を、[オン]から[オフ]に変更してください。

コア分離

お使いのデバイスで使用可能な、仮想化ベースのセキュリティを使用するセキュリティ機能です。

メモリ整合性

攻撃によって悪意のあるコードが高セキュリティプロセスに挿入されるのを防ぎます。



[詳細情報](#)

メモリ アクセス保護

悪意のある外部デバイスによる攻撃からデバイスのメモリを保護します。

設定は以上です。

Windows の再起動後、再度、SDM-3600 アプリを立ち上げ、現象が改善されているかをご確認ください。
問題がある場合には、再度『1. 診断 (デバイスマネージャーの起動・確認)』から実行ください。

以上